

# 第3回JDA日本語ディベート大会 開催要項

**目的：**日本ディベート協議会（JDA）による、アカデミック・ディベート普及活動の一環として、様々な層の方が参加・交流できるような大会の実現。また、従来主に英語で行われていたアカデミック・ディベートを母語（日本語）で行うことにより、参加者の方がより正確なアーギュメンテーションの理解、構築を行える大会を目指します。

**主催：**日本ディベート協議会（JDA）

**開催日時：**1997年3月22日（土）9時集合予定

**開催場所：**神田外語大学（JR京葉線「海浜幕張」駅下車徒歩15分、または総武線「幕張」駅下車徒歩20分、「幕張本郷」駅下車バス15分。詳しくは別紙を参照してください。）

**参加資格：**特に制限は設けません。ただし、後述の通り、二部門制を採用しているため、どちらの部門に参加するかは慎重にご検討の上決定して下さい。また、組織、団体の枠を超えたチーム構成も可とします（例：高校生と社会人、またはある大学の学生と別の大学の学生、等）

**参加費：**1チームにつき4,000円

**内容：**

**論題：**1997年度前期JDA推薦プロポジションを使用。

（別紙参照）

**フォーマット：**以下のフォーマットで試合を行います。

肯定側第一立論	6分
反対尋問(否定第二論者→肯定第一論者)	3分
肯定側第一立論	6分
反対尋問(肯定第一論者→否定第一論者)	3分
肯定側第二立論	6分
反対尋問(否定第一論者→肯定第二論者)	3分
否定側第二立論	6分
反対尋問(肯定第二論者→否定第二論者)	3分
否定側第一反駁	4分
肯定側第一反駁	4分
否定側第二反駁	4分
肯定側第二反駁	4分

**準備時間：**各チーム10分(自チームのスピーチ前に自由に使えます)

**チーム構成：**2人以上、最大4名までチームとして登録可能です。ただし、一試合につき、試合に参加できる方は2名に制限させていただきます。また、一試合につき、各参加者は一つの立論、一つの反駁をそれぞれ受け持っていただきます。その際、連続する2つ以上のスピーチを一人の方が担当することを禁止します。

**二部門制：**

以下の二部門を設け、それぞれ異なるルールを設定します。

## ①「トーナメントディベーターの部」

**対象：**英語、または日本語のアカデミック・ディベート大会への参加、またはそれに準ずる経験を有し、アカデミック・ディベートに関する知識をある程度

以上お持ちの方。

**予選：**2試合行います。そのうち1試合は肯定側、1試合は否定側を担当していただきます。

**決勝：**予選の結果、勝ち星と得点が上位の2チームで決勝戦を行います。決勝戦の勝者を優勝とします。

**表彰：**決勝戦進出の二チーム及びベストディベーターを別に選出し、表彰します。

## ②「一般の部」

**対象：**年齢、ディベートに関する経験等は問いません。

ただし、上級者の方は極力「トーナメントディベーターの部」にご参加下さい。

**試合：**二試合行います。そのうち1試合は肯定側、1試合は否定側を担当していただきます。

**表彰：**二試合行った結果、勝ち星の数と得点から、上位二チームを表彰します。

※なお、どちらの部門も、参加希望多数の場合は抽選により参加者を決定させていただきます。抽選にもれた場合、参加費は全額お返しいたします。ご了承下さい。

**応募方法：**

①大会参加費4,000円／チームを以下の郵便口座にお振り込み下さい。

加入者名：日本ディベート協議会  
口座番号：00160-5-154129

※その際、払込取り扱い表の通信欄に「ディベート大会参加費」と明記して下さい。また、郵便局で渡される受領書のコピーを申込用紙に同封して下さい。領収書とさせていただきます。

②添付した申込書に必要な事項をご記入の上、以下の住所・番号に郵送又はFAXして下さい。

〒

安藤 温敏 宛

FAX: 〇〇〇〇

**応募締め切り：**1997年2月末日（必着）

**ヘルパーのお願い：**関東地区よりご出場の方は、ヘルパーを1名ずつご同伴下さい。ディベートの経験は問いません。ヘルパーの方には、スピーチ時間計測、試合の司会進行等をやっていただく予定です。

ご意見、ご質問等は、下記までご連絡下さい。

〒

安藤 温敏

TEL/FAX: 〇〇〇〇

e-mail: 〇〇〇〇

以上